

# 我が国の子どもの成育環境の改善にむけて

## —成育空間の課題と提言—

**主催** 日本学術会議 子どもの成育環境分科会

**後援** こども環境学会、日本医学会、日本医師会、日本衛生学会、日本学校保健学会、日本環境教育学会、日本看護科学学会、日本看護系学会協議会、日本建築学会、日本公衆衛生学会、日本行動医学会、日本子ども社会学会、日本産業衛生学会、日本小児科医会、日本小児科学会、日本小児保健協会、日本小児看護学会、日本心身医学会、日本ストレス学会、日本造園学会、日本体育学会、日本体力医学会、日本都市計画学会、日本乳幼児教育学会、日本発達心理学会、日本病院会、日本保育園保健協議会、日本保育学会、日本野外教育学会、土木学会（予定・50音順）

■日時 平成20年9月16日（火）13：30～17：00

■場所 日本学術会議6階会議室（東京都港区六本木7-22-34）

■定員 50名（参加費無料）

平成18年2月、第1部、第2部、第3部の学際的な委員会として設置された課題別委員会「子どもを元気にする環境づくり戦略・政策検討委員会」は、我が国の子どもは極めて危機的な状況におかれているとの問題意識より、子どもを元気にする環境づくりのための国家的戦略の意義と必要性を指摘し、子どもの元気を育むための戦略的政策について総合的な提言を行いました（平成19年7月）。土木工学・建築学委員会、心理学・教育学委員会、臨床医学委員会、環境学委員会合同で設置された子どもの成育環境分科会では、引き続き、子どもの成育環境の質を構成する要素としての空間的条件を中心に取上げながら、どのような成育環境が望ましいものであるかをより具体的なガイドラインとして示し、また、それを実現する政府施策のあり方を提言するための検討を重ねてきました。このシンポジウムは、行政施策担当者、学会関係者にも参加をいただき、本分科会提言の報告と提言内容の総合的評価のための討議、および新聞等への発表を通じた社会的アピールを目的とするものです。

## ■プログラム

**総合司会** 海老原修（横浜国立大学教授、調査小委員会委員）

**開会挨拶・提言の視点** 仙田満（放送大学教授、日本学術会議会員・分科会委員長）

### I 講演（13：50～15：15）

- 子どもたちが群れて遊ぶ公園・ひろばの復活・遊び道の復活  
木下勇（千葉大学大学院教授、日本学術会議連携会員・分科会幹事）
- 多様な人に育まれる住環境整備の推進  
小谷部育子（日本女子大学教授、日本学術会議連携会員）
- 健康を見守る医療環境づくり  
添田啓子（埼玉県立大学教授、調査小委員会委員）
- 活発な運動を喚起する施設・都市空間づくり  
小林寛道（東京大学大学院客員教授、日本学術会議特任連携会員）
- 自然体験が可能な環境づくり  
三輪律江（横浜国立大学地域実践教育研究センター准教授、調査小委員会委員）
- 健康生活のための環境基準の整備  
矢田努（愛知産業大学大学院教授、日本学術会議特任連携会員・分科会幹事）
- 地域コミュニティの拠点としての教育・保育環境整備  
仙田満（前掲）

### II 討論（15：25～16：55）

討論司会 木下勇（前掲）

## ■申込方法

※プログラムおよび講演者は一部変更になる場合があります

E-mailもしくはFaxにて必要事項（氏名、所属、連絡先電話番号、E-mailアドレス）をご記入の上、お申し込みください。

定員となり次第、締め切りとさせていただきます。

尚、定員に達しない場合は当日も受付いたしますので、直接本シンポジウム事務局にお問い合わせ下さい。

開催日前に定員に達した場合は、受付に漏れた方のみご連絡を差し上げます。

### 申込み・お問合せ先（本シンポジウム事務局）

環境デザイン研究所 担当：井上寿（調査小委員会幹事）

〒106-0032 東京都港区六本木5-12-22

E-mail: inoue@ms-edi.co.jp TEL:03-5575-7174 Fax:03-5575-7178



# SCIENCE COUNCIL OF JAPAN



●交通：地下鉄千代田線乃木坂駅下車、青山公園方面出口徒歩1分